平成４年３月15日
平成４年度
予算案特集

市報
にいがた

発行日 毎週日曜日　発行所 新潟市役所　〒951 学校町通1-602-1　編集 市長公室広報課　印刷 (株)第一印刷所

市章

港のしるし錨と中央の五をもって、安政五年通商条約により指定された五港を意味し、これに雪環を頂かせて五港の一つ新潟をあらわす。

2年連続2けたの伸び
福祉とまちづくりを重点に

新年度予算

市では、現在開会中の三月定例市議会に平成四年度一般会計予算一千五百五十一億円と九特別会計・病院・水道事業会計合わせて総額二千六百九十六億七千九百一万五千円の各予算など四十二議案を提案しています。長谷川市長による二度目の当初予算案は、一般会計において前年度当初比で一〇・九%増で二年続けて二けたの伸び率となり、国の一般会計二・七%増や地方財政計画四・九%増の伸び率を上回る積極型となっています。編成は福祉施策を最重点に、①日本海側の国際的な中枢都市を目指して②より豊かな市民生活と親身であたたかい福祉③人を育み、文化を創る④男女が共に生きる社会を目指し、市民とともに歩む⑤快適で潤いのあるまちづくり――の五つの政策目標を具体化する数多い新規施策が盛り込まれています。この特集号では、長谷川市長の施政方針演説を一面に、新年度事業の概要を第三次総合計画の五つの都市像により一～四面で紹介します。

長谷川市長の施政方針演説要旨

私が市長に就任してから、早くも一年余りが過ぎ去ろうとしています。この間、湾岸戦争からソ連邦の解体へと続く世界情勢や、わが国の国際社会における責任の増大、人口の高齢化の進行、長く続いた好景気の後退など今後、大きな変動が予想される状況にあります。このように内外の諸情勢が変動するなか、本市開発に取り組む必要があるもの、計画的な推進を要するものなど、いま、市政に求められていることごとに各界各層の方々からさまざまなご意見などをお聞きしてまいりました。そのつど感じましたのは、市民が新潟市を愛し、まちの将来に大きな夢と希望を持っているということであります。私は、こうした市民の信託と期待に応えるため、初心を忘れることなく、激動する時代の変化に的確に対応しつつ、さまざまな課題に全力で立ち向かっていく決意であります。

3月議会で施政方針演説をする長谷川市長

21世紀に向け都市基盤整備を推進

市長として二度目の当初予算編成にあたり、特に重点を置いた市政の課題について基本的な考えを申し上げたいと存じます。

二十一世紀を間近に控えたこの重要な時期に、本市が都市間競争に勝ち抜き先導的な地位を確立するには、空港や港湾、高速交通網など交通体系の整備、公園・下水道などの推進、周辺地域を含む市街地の開発、あるいは情報基盤などの高次都市機能の集積、産業の振興など、将来に向けた都市基盤の整備に力を尽くしてまいりたいと思います。

福祉施策を最重点に

福祉の水準をさらに向上させるため、福祉施策の明年度予算の最重点に位置づけ、市民一人ひとりが生涯にわたって健康で豊かに生活でき、誰もがあたたかい心でお年寄りや障害をもつ方々に手を差し伸べる連帯にあふれた福祉都市の実現を目指し、多くの新規施策を盛り込み、既存の施策にも最大限の配慮をして自立を支援する福祉の推進、切実さを増す住宅・地域福祉の向上など、福祉環境の充実に取り組んでまいります。

人づくりに向け教育・文化・スポーツ施策を充実

まちづくりとは、「人づくり」であり、未来の魅力的な新潟市を創るのは、豊かで創造的な心をもった子どもたちであります。将来を担う子どもたちが明るく生き生きと育ち、個性と能力が発揮できる環境を形成するため、都市の発展の原動力である「人づくり」に向けて、教育環境の充実にこれまで以上に力を尽くしてまいります。また、生活文化に、スポーツに対する期待に応えての基盤づくりを進めるため、芸術・文化施策の充実、文化財の保護・文化・体育施設の整備などに積極的に取り組んでまいります。

市民参加を積極的に推進

市長に就任以来、各種の審議会をはじめ、市政懇談会、など一層の充実を図ります。オンブズマン制度については、本市にふさわしい制度の導入に向けて引き続き調査研究してまいります。

コミュニティ施策として、四月に松浜町地区と中地区のコミュニティセンター建設事業にとりかかります。また、江南地区コミュニティセンターの建設を目指して調査費を計上、自治・町内会の集会所に対する補助では、新たに用地の借上料や修繕料にも助成します。

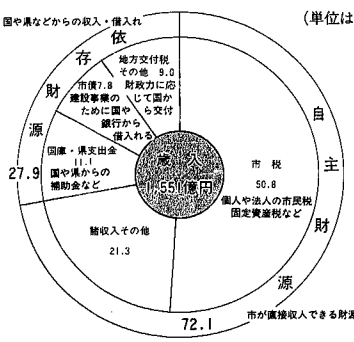
住居表示については、新たに松浜町地区と内野町地区の実施に着手。五十嵐一の町地区と上木戸・寺山地区は新年度に実施します。

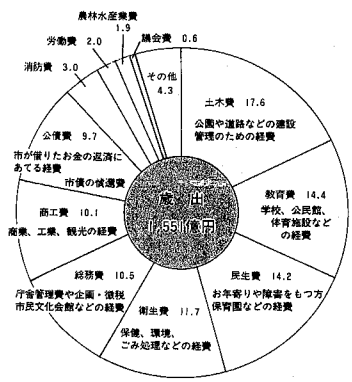
自然環境の保全と緑豊かな景観づくり

新潟市は日本海を臨む美しい海岸線、豊かな水をたたえてとうとうと流れる信濃川・阿賀野川、そして鳥屋野潟や佐潟など恵まれた自然環境を享受してまいりました。生活に潤いを与え、心にやすらぎをもたらす自然環境を守り、育てるとともに、公園や緑地の整備を進め、街路樹の植栽や地域の緑化に努めてまいります。これら多くの緑と水辺を結ぶ「水と緑のネットワーク」を創造するため、自然と調和し共生した美しい緑豊かな景観をつくり、快適で安全な生活環境の形成に努めてまいります。以上の基本的な考えの下で、また公約として掲げた五つの政策目標の実現に向け、明年度予算を積極的に編成するなど最大限の努力をいたしました。

一般会計予算の内訳

（単位は%）





行政サービスを一層拡大

暮らしのガイドは全戸配布に

ふれあいと連帯 市民主体都市

新潟市の第三次総合計画が七年度で終了することから、新年度から第四次総合計画の策定に着手、千二百万円を計上しています。

行政サービスでは、一層の向上を図ろうと住民票発行代替システムを導入し、中央電子計算機が停止した場合でも平常時と同程度の窓口サービスを維持できるようにします。

また、地区事務所・連絡所の窓口業務の拡充を図るため、従来本庁だけで交付していた税証明の交付を四月から開始。管内人口の多い石山・鳥屋野・坂井輪連絡所では新たに高齢者・障害者・母子福祉関係の事務を始めます。また関屋・入舟連絡所には七月から模写電送装置を設置し、戸籍関係各種証明の即日交付を可能とします。

広聴・広報面では、今まで転入者向けに配布していた「暮らしのガイド」の内容充実を図り全世帯に配布します。市政への意識や要望を聴く市政世論調査では対象者を千人から二千五百人に拡大します。

女性センターでは、運営委員会と企画委員会を新たに設置し、女性政策の推進を図っていきます。主な事業として「市川房枝生誕百年記念展」「にいがた女性大会」を予定しています。